

銀河Fun Club Magazine

vol. **4**
February
2019



銀河に暮らす夢中人

松森 政仁 さん

name

つながりが育む
「ハッピー」な滝沢を目指して



上：M5Trees/松森木工所の家具が溶け込むリノベーション中のiMA5で。本業以外の活動に関わることで自分の家具作りのヒントも得られるという。右：eye²→weaveが企画に携わり、若手農家と一緒に滝沢市の3つのしょく、食・職・色と出会う・知る・感じる「たきざわ3しょくプロジェクト」の1シーン。

「滝沢の楽しいことを発信して、いろんな人とつながりたい」そんな想いで活動する滝沢市のeye²→weaveたきざわ(アイアイ・ウィーブたきざわ)代表の、M5Trees/松森木工所の松森政仁さん。プロジェクト名には、「わたしの視点とあなたの視点・愛で未来を紡ぐ」という意味が込められている。一人で楽しんでいたことがちょっとずつ人とつながっていく、そんなネットワーク作りを目指すプロジェクトだ。例えば、インスタグラム*上で展開している「#My岩手山」、「#Myたきざわ」では、岩手山が見える地域に住む人なら当たり前前の風景が、様々な人の視点の写真で発信され、それぞれに愛されていることが見えてくる。

「ものづくり」を通して「暮らしを豊かにする」ことを目指すクリエイティブユニット「M5Trees」(エムファイヴ・トゥリーズ)では滝沢ニュータウンの一角の空店舗を、多目的に利用できる交流拠点とするリノベーションを行なっている。人の合間(あいま)をつなぎ、とりもち、新しい価値が生まれる場。という願いを込め「iMA5」(アイマ・ファイヴ)と名付けた拠点は、メンバーがお金を出し合い現在改装中。木のぬくもりあふれる空間は、学校帰りの子供たちが寄り道したり、シェアオフィス、バルや日替わりシェフによるレストランなど、人と人が自然につながる場所になる予定だ。本業の木工では、オーダーメイドの木製建具・家具製

造の他、オリジナル商品として、滝沢の新シンボルとなった「ビッグルーフ滝沢」に設置されている特産のりんごの木箱に着想を得た家具「HaaaL」(ハール)や一筆書きのラインで滝沢すいかやチャグチャグ馬コなどを描いた「HaaaL Hex Coaster」などを手がけている。

職人の世界は、一心に素材と自分自身に向き合う毎日。松森さんは、この活動を始める以前は、ものづくりに没頭しながらも「誰をどうやってハッピーにすることができるのか」と、職人の世界独特の閉塞感の中で、思索する日々を過ごしてきた。その迷いに、人と地域がつながる「場づくり」や「ことづくり」が加わったことで、自身の「ものづくり」にも新たな世界が拓けていった。

今、eye²→weaveたきざわはプロジェクトメンバーだけではなく、地域の若手農家や公務員など、滝沢を想う仲間と手を携え、様々な視点で地元の魅力を見出し発信している。一人一人の想いと、つながりが育む新たな「ハッピー」が、少しずつ地域に広がっている。

*会員制交流サイト(SNS)の写真共有サービス

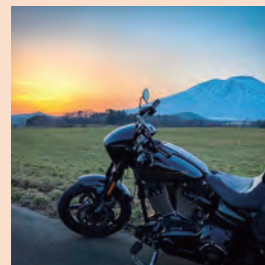
松森 政仁 MASAHITO MATSUMORI

滝沢市出身。仙台の専門学校から東北を代表する山形県天童市の家具メーカーで一品ものの家具作りを学ぶ。「経営感覚」を学ぼうと、自動車販売の経験を経て、2002年にUターン、家業を継ぐ。42歳。eye²→weave (Facebook) eye2.weave.takizawa



上：HaaaL Hex Coaster。一筆書きの線で滝沢のりんご、スイカ、チャグチャグ馬コ、岩手山が描かれた滝沢愛のこもったコースター。並べるとピタッと線がつながる。左：ビッグルーフ滝沢に並ぶ「HaaaL」。様々な組み合わせや展開ができる家具。木箱とタタミを組み合わせさせたソファも。

右：「写真の感動が人の心を動かす。何もないと思っていた街を、写真の力で世界に発信することができるはず。」と、松森さん。趣味のバイクと岩手山。下：滝沢りんごの魅力伝える「滝沢りんごのバスターパーティー」。



「滝沢駅 Train Spotter's」 フォトコンテスト結果発表

滝沢駅の鉄道写真撮影専用スペース「Train Spotter's」を舞台にフォトコンテストを開催いたしました。ご投稿いただいた皆様の思いがこもった作品の中から、創意工夫を凝らした4点が入賞作品に決定しましたので、ぜひご覧ください。

【応募期間】平成30年4月9日～8月31日 【応募方法】Facebook、Instagramにてハッシュタグ「#トレインスポッターズ滝沢」で投稿
【応募点数】25点 【協賛】オリンパス株式会社 様

★ ★ ★ 最優秀賞



『青を駆けるIGR』
盛岡市 やまもと たく 様

受賞者 コメント

まさかの入賞で大変嬉しく思います。
トレインスポッターズはマナーを守りながら楽しく写真撮影ができる場所ですので皆さんも気軽に楽しんでみてください。
この度はありがとうございました。

★ ★ ★ 優秀賞



『夏色トレインスポッティング』
神奈川県横浜市 南 輝明 様

★ ★ ★ 審査委員特別賞



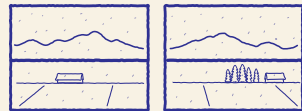
『秋の訪れ』
滝沢市 小林 優介 様

★ ★ ★ IGR賞



『行きも帰りもIGR』
八幡平市 藤江 拓 様

私 と IGR



最初の出会いは、今から約4年前の3月のこと。
この日、私は新幹線で東京駅から二戸に行く予定でしたが、適当な新幹線がなかったため、盛岡駅で下車し、在来線で二戸駅へ向かうことにしました。そこで乗車したのがIGRいわて銀河鉄道でした。はじめて乗る電車で少しソワソワしながら車内を観察していたところ、向いの席におぼあちゃん（ちよこん）と座り、手作りのおにぎりをゆっくりと食べはじめ、それと同時に電車が出発しました。一瞬にしてゆったりとした空気が流れ、はじめて行く二戸という地に緊張していたのか、体から力が抜けていくのがわかりました。そんな車内の雰囲気と、どんどん変化していく車窓からの雪景色が今でもたまに思い出されます。
それから1カ月後、私は二戸市の地域おこし協力隊として3年間活動することになりました。任務の1番のミッションは、銀河鉄道観光のみなさんと一緒に二戸のツアーを造成することでした。月1回の日帰りツアーで、二戸の魅力を発信するため素材を発掘することや受入れ側の調整、当日の運営などを担当させていただきました。お客さまは盛岡周辺の方が多く、少しずつですがリピーターさんが増え、お世辞でも「みっちゃんに会いに二戸に来たのよ」と言われると本当に嬉しかったです。IGRさんとのご縁があったお陰で、人との繋がりが旅の面白さを教えていただいたと思っています。二戸に行くツアー「若手にのへ＊おさんぽ日和」と一緒に作り上げてくれたIGRのみなさん本当にありがとうございました。

IGRとの出会いとご縁。

神奈川県川崎市 高橋 光子
Mitsuko Takahashi

★「私とIGR」コーナーでは会員の皆様からの投稿を募集しています。沿線旅行記やIGRに関わる思い出などテーマは自由です（字数は500字程度）。採用者には薄謝進呈。

Station History

厨川 駅 くりやがわ

Past | Future

人にやさしい人づくりの駅 「厨川駅」を目指した 100分の3年間

菊地 久夫 現好摩駅員 Hisao Kikuchi

2018年11月1日、厨川駅は開業100周年を迎えました。私は「IGRいわて銀河鉄道」へ移管する2002年11月30日までの3年間、JR厨川駅に勤務していました。

「おはようございます！」

「行ってらっしゃい！」

朝の通勤通学風景です。

そんな3年間、私が常に考えていたことは「IGRいわて銀河鉄道」への移管にあたり、厨川駅舎をどれだけ化粧して引き渡せばよいか、ということでした。とりえずJR盛岡支社の会議で幹部に聞いたところ、「持参金なし」、「化粧なし」とのことでした。私は駅長として、美人への化粧はできないが「お客さまに親しまれる化粧を」と考え、気配りの化粧を施すことにしました。

一つは、跨線橋への「等身大鏡」の設置でした。これは、今も大事に残されており、安心しました。これを設置した心は、通勤通学時の身だしなみチェックと、1日のスタートは笑顔で出勤、これぞ最高の美人との思いでした。

もう一つ、ホームへの「木製ベンチ」の設置です。既存のホームの椅子は冷たく、一休みをおススメするには気が引けるものです。温もりのある椅子をと、ホームの柱を活用して「木製ベンチ」を作ろうと考えたのです。結果、四角い木製椅子の出来栄は最高で、お年寄りや高校生にはたいへん好評でした。「心の化粧」ができたと思いました。

3年間の勤務で最高の思い出は、お客さまから「高校生が挨拶するようになったね♡」と言われたことでした。厨川駅を利用する高校生が、地域の人たちに朝夕挨拶するようになったのです。信じられませんでした。日々の会話とお客さまの声を掲示板に貼りだし、コミュニケーションを図り続けた結果だと思っています。

「人にやさしい人づくり」がとても大

切であると、現在も感じています。厨川駅100周年の1ページに勤務できたことに感謝するとともに、IGR厨川駅の更なる発展と、地域に貢献する駅であり続けることを期待しています。



1日のスタートはこの鏡から

Station History



ホームで待つお客さまを支えてきた木製ベンチ





INFORMATION



会員おトク情報

※最新の優待店情報は、IGRのホームページをご確認ください。

DATA

岩手県盛岡市繁字塗沢40-4 IGR盛岡
駅より車、バス、無料シャトルで約25分
☎019-689-2111 外来入浴7:00～
19:00(受付19:00まで) 年中無休

★会員特典★

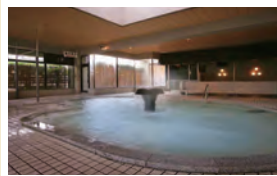
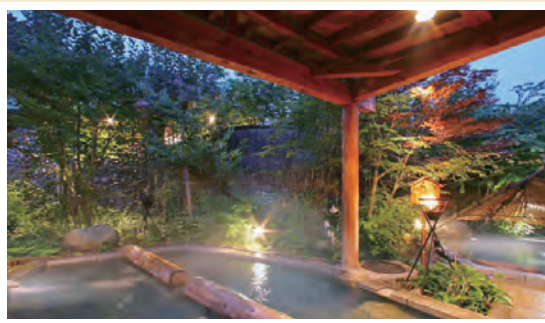
日帰り入浴

大人 800円⇒600円

子供 400円⇒300円

※同伴4名まで可

十八趣の多彩なお風呂、
湯巡りの醍醐味を愛真館で
愛真館自慢の庭園縄文露天風呂は木のぬくも
りが心と身体を癒す「夢枕の湯」や、深さ120
センチの立った状態で湯の揺らめきに身を任
せる「竪穴の湯」。
昼は木漏れ日が気持ち良く、夜は瞬く星が美
しい「木漏れ日の湯」など趣向を凝らした多種
のお風呂があります。
貸切風呂は、日本有数の広さ最大22坪にサウ
ナ付き。お客様連れのご家族やお仲間同士の
利用におすすめです。
冬はやっぱり温泉巡り！愛真館の18種の湯殿
をお楽しみください。



木のぬくもりが心と身体
を癒す庭園縄文露天風呂
の「夢枕の湯」

高アルカリ温泉で肌はすべす
べに。ストレス解消や疲労回
復にも効果があります

盛岡つなぎ温泉 ホテル愛真館

盛岡市

DATA

岩手県八幡平市細野436-9 JR花輪
線で安比高原駅、安比高原駅からタ
クシーで5分 ☎0195-72-6811
10:00～21:00(受付20:00まで)
第3木曜休

★会員特典★

日帰り入浴

料金大人600円、小人300円から

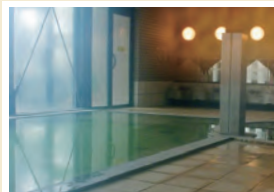
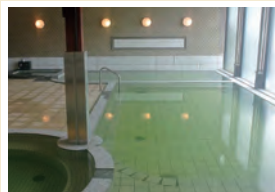
10%引き

※同伴5名まで可



屋根の上の白い綿帽子が目印

サウナ、露天、水風呂、エレキ風
呂を備えた洋風の「コスモス
の湯」(左)と、エレキ風呂、サウナ、
水風呂、露天を備えた和風の「り
んどうの湯」(右)



あずみの湯
柔らかく優しい湯が
根強い人気の秘密
安比高原スキー場のお膝元に位置する、民
街の一角に立地。屋根の上にのっている白い
綿帽子をかぶった塔が目印の立寄り温泉施設
です。旧安代町の温泉ブームの火付け役とし
て、今も根強い人気を誇っています。
浴室は洋風の「コスモス
の湯」と和風の「りんどう
の湯」があり、なかでも両浴
室に完備された「エレキ風
呂」は、温泉効果とマッサ
ージ効果とが相まって、これ
を目標に訪れる人も多い
人気のお風呂です。

綿帽子温泉館

八幡平市

おすすめのイッピン



淡雪のように、さっと溶けて消える、
切なくてあまい、
初恋の味をご賞味あれ。

盛岡の初恋

800個限定 1,058円(税込) 80g

果肉が赤い盛岡産の希少なりんご「ジェネバ」を、きれいなルビー
色のジャムに仕上げた逸品。しゃりしゃりとした食感の甘ずっぱい
ジャムは、パンに塗ったり、ヨーグルトに入れても美味しいので
すが、一番おすすめなのは、スプーンですくってそのまま味わう
こと。シリアルナンバーつきのかわいらしい箱でラッピングされて
いますので、ぜひ、大切な人に贈ってくださいね。

青山地区まちづくり協議会(盛岡ふれあい覆馬場プラザ内)
岩手県盛岡市青山2丁目6-8 ☎019-643-3088 FAX 019-656-7688
カネイリスタンドストア、ななっく、「すっぱい林檎の専門店。」の店舗と
ネット通販(<https://www.kmdr.jp/>)でも取り扱っています。

オススメ人 > 杉田 寿子 Hisako Sugita

株式会社Lenon代表取締役。ファンクラブ創立メンバー。

COLUMN

世界にはばたけ！ 北東北のJOMON 奥中山の縄文グルメ

千葉 千枝子 Chieko Chiba

淑徳大学経営学部観光経営学科 学部長 教授
IGR銀河ファンクラブ代表

旅のトレンドで今、注目しているのが
JOMONです。北海道・北東北の縄文遺跡群
は世界遺産登録まで、あと一歩。地域の盛
り上げかた次第で、大きく化けそうな予感
がします。

縄文のライバルは奄美・沖縄でなく、実は
KOFUNです。以前、観光庁の専門家派遣事
業で大阪・藤井寺市を訪ねました。大阪府に
は世界遺産が一つありません。百舌鳥・
古市古墳群の世界遺産登録をめざして、観光
資源の磨き上げに役場が一生懸命でした。

観光でお金を落とす仕組みづくりは、ダ
ムを参考にするとよいでしょう。インフラ
ツーリズムが注目され、黒部ダム(富山)



上：奥中山高原リゾートの新商
品「縄文カレー」は、三内丸山遺
跡のまほろば茶がご飯の隠し味に
なっている。左：奥中山高原リ
ゾート雪あかりの縄文ジェラ
ートは、どんぐりペーストが濃厚で
トッピングには胡桃や松の実も。

や宮ヶ瀬ダム(神奈川)の観光放流が人気
の的に。ダムカレーやダムカードも話題
です。大阪も負けじと、古墳カレーや古墳
カードで盛り上がっていました。

先日、奥中山高原リゾートで、縄文カレー
と縄文ジェラートを食べました。あまりの
美味しさに驚きました。キーワードはどん
ぐり。どんぐりを食したのは韓国・ソウル
以来で、ヨン様プロデュース(当時)の伊レ
ストランで食べた、どんぐりが練りこんで
あるパスタが絶品でした。よい狙いだなど
感じました。

IGR沿線での縄文グルメと“まほろばビジ
ネス”の、これからに期待を寄せています。



IGR の仕事人



鉄道の電気設備は、電車線・電灯電力・変電の3つの系統に区分されます。毎年各設備の検査を計画・実施し、結果を元に修繕や設備更新しています。今回は電車線の保守管理業務にスポットを当ててご紹介いたします。

線路の上を見ると多くの電線が張られています。パンタグラフ(電車が架線から電気を取り入れる装置)が擦る線をトリ線といいます。トリ線は電車に電気を送る非常に重要な設備で、当社線では約2万Vの電圧がかかっています。日中の目視での点検に加え、深夜から明け方

にかけて電気を停めて至近距離での検査をしています。夜間作業では、「軌陸車」というレールと一般道を走行可能な高所作業車を使用します。0.01mm単位でトリ線の摩耗測定や金具類の修繕を行っています。感電・触車・墜落の危険が潜んでおり、安全には細心の注意を払って作業をしなければなりません。

その他、春は電車線設備付近にできた鳥の巣の除去、夏・秋には電線周囲の樹木伐採、冬にはトンネル内に発生したつららの除去等、季節にちなんだ業務もあります。



トリ線の高さや偏位が適正であるか、架線測定器を使用して測定しています。



仕事人のひみつ道具 マイクロメーター

トリ線の摩耗を0.01mm単位で測定する道具です。断線を防ぐ為に日々点検を行っています。

IGRいわて銀河鉄道 設備管理所 電力グループ

熊谷太輔 Kumagai Taisuke

出身：岩手県盛岡市／趣味：バスケット
仕事のモットー：仕事に一貫性を持たせる

並岡秀和 Namioka Hidekazu

出身：岩手県軽米町／趣味：旅行
仕事のモットー：創造力・行動力・忍耐力

EVENTS

2019
2-6



© 岩手町

2月1日(金)～14日(木)
各日17:00～20:00 ※2月1日は18:00より点灯式
いわてまちイルミネーション2019～冬の花畑～
岩手町立石神の丘美術館・道の駅「石神の丘」
(いわて沼宮内駅より徒歩15分)
恒例のイルミネーションイベント「冬の花畑」。真冬の雪原にラベンダー畑を表現します。土日祝日にはお客さまによる再点灯イベントを実施。



© 盛岡広域振興局

2月23日(土)・24日(日) アピオきっぷで行こう! いわてS-1スイーツフェア2019

岩手産業文化センターアピオ
(滝沢駅からバスで約7分)
今回で7回目となるウィンターシーズン恒例の人気イベント。スイーツやグルメの販売、ご当地キャラのダンス、大抽選会などが行われます。

3月2日(土)～3日(日) 第17回まんぷくそばフェスタ

岩手広域交流センター「プラザあい」
(いわて沼宮内駅・駅ビル内)

北緯40度エリアの手打ちそばの食べ比べが出来るイベント。特産品販売やステージショーもあり、おいしいと楽しいがたくさんつまめます。

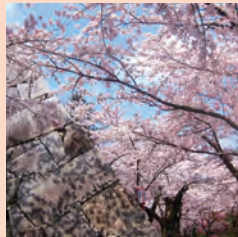


© 岩手町

4月中旬～5月初旬 予定。桜の開花状況によります 盛岡さくらまつり

盛岡城跡公園(盛岡駅からバスで約10分)
高松公園(盛岡駅からバスで約15分)

期間中は公園内にぼんぼりを設置し、盛岡城跡公園では夜桜をライトアップ。屋台も出店し、夜桜見物も楽しむことができます。



© (公財) 盛岡観光コンベンション協会



© (公財) 盛岡観光コンベンション協会

5月19日(日) 例年5月第3日曜日

姫神山山開き

姫神山一本杉コース登山口
(好摩駅から車で約15分)

姫神山一本杉登山口において、安全祈願、テープカットを行い、登山を実施。登頂後、お神酒のお振舞、記念品の配布が行われます。



© 二戸市観光協会

5月下旬 稲庭高原まつり

稲庭交流センター天台の湯 周辺
(二戸駅から車で約40分)

自然豊かな新緑の稲庭高原を楽しむイベントです。会場では、ステージショーのほか、アクアボール体験や宝探し大会などが行われます。



6月2日(日) 予定 高森高原まつり

高森高原レストハウス付近
(一戸駅から車で40分) ※無料送迎バスあり

高森高原まつりは、郷土芸能の披露やさまざまなイベントが開催されるほか、旬の山菜販売など地元の味覚も味わうことができます。



© 一戸町

6月8日(土) チャグチャグ馬コ

鬼越蒼前神社(滝沢市)～盛岡八幡宮(盛岡市)
(青山駅徒歩5分の青山中央通り商店会を經由)

愛馬に色鮮やかな飾りをつけ、チャグチャグの鈴の音を響かせながら参拝する伝統行事。人馬の無病息災、家内安全、五穀豊穡などを祈願します。



© 滝沢市

お誕生日は、仲間と旅に出よう! ★バースデーきっぷ★

お誕生日当日と前後1日は…

500円でいわて銀河鉄道線(盛岡～目時間)が
1日乗り放題!

※JR線(新幹線を含む)や青い森鉄道線はご利用になれません

★発売金額 500円(おとな・子ども同額)
※同一行程に限り同伴者の方3名様まで
お一人につき500円で発売します。

★利用対象期間 誕生日とその前後1日 計3日間

★発売期間 通年

★発売箇所 IGR線内各駅の窓口(小繋駅、斗米駅を除く)

※お求めの際は、氏名、年齢、誕生日の分かる身分証明書を提示してください。
※詳しくは、IGRインフォメーション(Tel.019-626-9151)またはいわて銀河鉄道ホームページでご確認ください。

IGR銀河ファンクラブ2019 会員募集

IGRとIGR沿線を応援するファンクラブでは、様々な特典をご用意しております。皆さまのご入会をお待ちしております。

年会費：大人2,000円 小人1,000円

<会員特典>ファンクラブ会員キット(2年目会員は1日フリー乗車券1枚)、メルマガ配信、年1回のファンミーティング、年2回会報誌の送付、IGR沿線ツアーをお得な料金でご案内、会員証提示で各種優待店あり!

<入会方法>氏名(ふりがな)、生年月日、性別、住所、電話番号、Eメールアドレスを明記の上、EメールまたはFAXでお申込みください。(ginga-fc@igr.jp fax.019-601-9998)

必ずとも銀河 会員向け新サービス 「シェフの気まぐれランチ」(コーヒー・サラダ付) 800円 どうぞご利用ください。



会員証



モバイル
バッテリー



IGRオリジナル
バスケース



銀河ファンクラブマガジン vol.4
2019年2月1日発行

発行：IGR銀河ファンクラブ事務局
〈IGRいわて銀河鉄道(株)営業部内〉
020-0133 岩手県盛岡市青山2-2-8
ginga-fc@igr.jp tel.019-601-9995

www.igr.jp

